

News Letter

2025
Spring issue

令和7年5月21日発行

Japan Society for the Sociology of Sport and Physical Education



日本体育社会学会

事務局：〒630-8506

奈良県奈良市北魚屋西町

奈良女子大学生活環境学部 N120 研究室

石坂 友司 研究室内

E-mail: jimukyoku@jssspe.org

< 目 次 >

「年報 体育社会学」第6号(2025)の
発行について……………1

「年報 体育社会学」第7号(2026)の
発行について……………2

日本体育社会学会 第3回大会について……………3

一般社団法人 日本体育・スポーツ・健康学会
第75回大会について……………5

アーカイブ化 ご協力をお願い……………6

事務局より……………6

あとがき……………11

令和7年4月1日に「年報 体育社会学」第6号 (2025) が発行されました。

■巻頭言 高峰 修

■特集論文 子どものスポーツ格差
千葉 直樹
特集のねらい
清水 紀宏
不公正な子どもスポーツからウェルビーイングなスポーツコミュニティへ
片岡 栄美
学校外教育空間における子どものスポーツと格差：
経済資本・文化資本・地域要因を中心に
宮本 幸子・松下 由季
移民自動のスポーツ実施と体力・運動能力：
都内公立小学校の量的調査に基づく考察

■原著論文 中村 真博・松尾 哲矢
日本における車椅子ソフトボールを通じた肢体不自由者と健常者の関係性構築に関する実証研究
大隈 節子
バレーボールにおける「間合い」の攻防に関する生成論的研究
中山 健二郎
コロナ禍の高校野球における球児たちの「実践」：
「日常の喪失」は高校野球文化にどのような影響を与えうるのか

■研究資料 高峰 修
部活動地域移行に見る生徒の安心・安全課題についての検討：
地域スポーツ現場で起こった性的暴行事例を参考に

■書 評 釜崎 太
スポーツ原論—スポーツとは何かへの回答 / 関 朋昭
三宅 仁
フランス柔道とは何か—教育・学校・スポーツ / 星野 映・中嶋 哲也・磯 直樹編
束原 文郎
体罰と日本野球—歴史からの検証 / 中村 哲也

「年報 体育社会学」編集委員会では、現在第7号（2026年4月刊行）の投稿論文の原稿を受け付けております。投稿された論文が2026（令和8）年1月末までに論文審査を終えて採択されれば第7号への掲載となりますが、1月末を過ぎても採択後には翌年の機関誌の刊行（第8号）を待たずにJ-STAGEへ早期公開し、可能な限り投稿者の研究成果を国内外の研究者に広く共有してもらえよう編集体制を整えております。投稿先を検討中という会員の皆様には、是非とも「年報 体育社会学」へのご投稿を検討ください。なお、投稿には締め切りはありません。年間を通じて投稿を受け付けておりますので、何卒よろしくお願いいたします。詳細は、「投稿に関わる諸規程等一覧」をご覧ください。

https://jssspe.org/wp-content/uploads/annualreport_regulations_20230625.pdf

「年報 体育社会学」J-STAGEはこちらからご覧いただけます。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/arspes/-char/ja>

日本体育社会学会 第3回大会について

1. 開催期間

2025年6月21日（土）・22日（日）の2日間

2. 開催形式

対面形式

3. 主 催

日本体育社会学会 <https://jssspe.org/>

4. 大会プログラム （調整中）

○…一般発表（発表15分＋質疑10分）

日程表(発表10分・質疑10分)																								
	9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00		18:00		19:00		20:00	
21日					新旧理事会		受付		一般発表								実行委員会企画		移動		懇親会			
22日	受付	一般発表					休憩		総会		研究委員会企画シンポジウム					エンディング 表彰・								

5. 開催場所

東北大学川内南キャンパス

〒980-8576

仙台市青葉区川内 27-1

（仙台地下鉄東西線「川内」駅下車、10～15分）

※総会是对面で開催します。

6. 今後の主なスケジュール

一般研究発表申込開始	2025年5月2日（金）
一般研究発表申込締切	2025年5月19日（月）
一般研究発表抄録提出締切	2025年5月25日（金）

※参加のお申し込みは当日まで受け付けます。

7. 大会参加、及び発表申込み

- (1) 大会参加、及び発表を希望される方は、下記、日本体育社会学会（大会）ホームページの専用フォームからお申込みください。

参加申込フォーム：<https://jssspe.org/taikai/taikai-form>

（発表申込〆切：5月19日（月））

- (2) 一般発表は、「一般口頭発表」のみを実施します。
- (3) 「一般口頭発表」発表資格は、発表代表者は日本体育社会学会の会員に限ります。また、第2発表者以降には、別途、参加費を申し受けることとします。
- (4) 発表を希望する方は、発表抄録を「日本体育社会学会 発表抄録集執筆要項」を参照し、作成してください。作成された抄録原稿のWordファイルを上記のフォームからご提出ください。なお、発表抄録の著作権は本

学会に帰属します。

- (5) 本会では、体育社会学分野における学生の研究を奨励することを目的として、教育機関で専任の職を有する者を除いた大学院生および研究生に対して、「学生研究奨励賞」を授与します。審査を希望する方は「日本体育社会学会 発表抄録集執筆要項」を参照の上、所定の発表抄録を作成してください。また、参加申込フォームの「審査を希望する」欄にチェックを入れてください。

8. 大会参加費

種別	早期割引あり	通常（早期割引なし）
正会員参加費	3,000 円	5,000 円
正会員（学生・院生）・学生会員参加費	1,000 円	2,000 円
非会員（一般）参加費		5,000 円
非会員（学生・院生）参加費	1,000 円	2,000 円
情報交換会費（正会員）		6,000 円
情報交換会費（学生・院生）		4,500 円
情報交換会費（非会員（一般））		6,000 円

9. 実行委員会

実行委員長： 甲斐 健人（東北大学大学院教育学研究科）
副実行委員長： 鷺谷 洋輔（東北大学大学院教育学研究科）
委 員： 石澤 伸弘（北海道教育大学札幌校）
委 員： 浅沼 道成（岩手大学名誉教授）
委 員： 伊藤 恵造（秋田大学教育文化学部）
委 員： 嘉門 良亮（岩手大学人文社会科学部）

一般社団法人 日本体育・スポーツ・健康学会第75回大会について

標記学会大が下記の内容で開催されます。詳しくは以下のHPをご覧ください。

<https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/jspehss75>

■ テーマ：今改めて問う、身体科学と文化の価値一次世代を切り拓く未来創造

■ 会期：2025年8月27日（水）～2025年8月29日（金）

■ 会場：日本体育大学 東京・世田谷キャンパス

〒158-8508 東京都世田谷区深沢 7-1-1

■ 開催形式：対面式

■ 大会スケジュール：

◇大会1日目（8月27日）

オープニングセレモニー／専門領域別企画／本部企画シンポジウム／総会／情報交換会

◇大会2日目（8月28日）

テーマ別研究発表並びにテーマ別シンポジウム／専門領域理事会／本部企画シンポジウム

◇大会3日目（8月29日）

専門領域別研究発表／専門領域総会

	午前			昼	午後		夕方	夜
1日目	オープニング	専門領域企画	専門領域企画	ランチョン/ 名誉会員懇談会/ 専門領域の諸会議	本部企画 シンポジウム①	テーマ別口頭発表 (A、B)	総会・表彰式	情報交換会
2日目	午前			お昼	午後		夕方	
	テーマ別口頭発表 (A、B)	テーマ別シンポ (A)		ランチョン/ 地域連絡会議/ 専門領域の諸会議	テーマ別口頭発表 (A、B)	テーマ別シンポ (B)	本部企画 シンポジウム②	
3日目	午前			お昼	午後			
	専門領域別企画			専門領域連絡会議	専門領域別企画			

■ 専門領域企画：大会1日目（8月27日）

◇体育経営管理専門領域との合同シンポジウム：

部活動地域展開後の学校体育を再考する～レーゾンデートルと事業構造～

9:40～11:40

■ 専門領域理事会：大会2日目（8月28日）

12:20～13:20

■ 専門領域総会：大会3日目（8月29日）

13:00～13:30

■ 大会参加費

参加費区分	会員	非会員	学生
早期割引	9,000 円	10,000 円	4,000 円
事前割引	11,000 円	12,000 円	5,000 円
当日現地受付	12,000 円	13,000 円	6,000 円

現在、日本体育・スポーツ・健康学会体育社会学専門領域の発表論文集・抄録集をアーカイブ化しています。第15号～現在までの論文集・抄録集については体育社会学専門領域ホームページ上で公開いたしました。第14号までのアーカイブ化については事務局で保管している現物がないことから作業を中断しております。もし、アーカイブ化にご協力いただける方がおられましたら、下記アドレスにご連絡いただけないでしょうか。

事務局メールアドレス：jimukyoku@jssspe.org

なおPDFにするにあたり、背表紙を約1cm程度切り落とす必要がありますので、その点をご了承いただける方がおられれば幸いです。何卒ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

事務局より

日本体育社会学会第3回大会を6月21日（土）・22日（日）に開催し、2023-24年度事務局は任期を終え、新体制に引き継ぎます。2025年1月からは日本体育・スポーツ・健康学会に所属しない方の新会員制度も開始されています。学会の充実に向けて、引き続きよろしくお願いいたします。

1. 2025年度の学会大会について

第3回日本体育社会学会大会は2025年6月21日（土）、22日（日）に東北大学川内南キャンパスで開催されます。また、日本体育・スポーツ・健康学会大会は2025年8月27日（水）～29日（金）に日本体育大学で開催されます。詳細は会報、ホームページ等でお伝えいたします。

2. 新会員制度の導入と会員募集について

2025年1月1日から新会員制度が導入され、日本体育・スポーツ・健康学会に所属されていない方でも、理事会の承認を得て会員（正会員、学生会員）になることができます。会費は、日本体育・スポーツ・健康学会所属の正会員は年額3,000円、それ以外の正会員は5,000円、学生会員は3,000円となります。名誉会員からは徴収いたしません。

入会方法につきましては学会ホームページ「学会（専門領域）について」の「入会のご案内」をご覧ください。お近くの研究者の方、指導院生などに周知いただければ幸いです。

3. 『年報 体育社会学』の販売について

2025年4月に『年報 体育社会学』の第6号が刊行されています。学会誌の送付は前年度の会費納入に対して行われていますので、新規入会の方、複数冊が必要な方などは杏林書院さんのサイトから購入してください。第5号より販売を行っています。大学図書館などの所蔵として、定期購入をご検討・ご依頼いただければ幸いです。

<https://www.kyorin-shoin.co.jp/book/b10134951.html>

4. 事務局の連絡先

事務局のメールアドレスは以下の通りです。 jimukyoku@jssspe.org

○理事会議事録

2024年度 日本体育社会学会 第5回理事会 議事録

日時：2024年12月31日（火）～1月5日（日）

場所：メール審議

議事録：石坂事務局長

＜審議事項＞

1. 日本体育・スポーツ・健康学会での各種委員選定について

日本体育・スポーツ・健康学会から依頼のあった次年度委員の選定について理事長より以下のように提案され、承認された（敬称略）。

＜体育学研究編集委員＞

中澤篤史（留任）、高尾将幸、秋吉遼子

＜IJSHS 編集委員＞

山口志郎（留任）、野口亜弥

＜学会賞選考委員（日本体育・スポーツ・健康学会）＞

吉田毅（留任）

2. 日本体育・スポーツ・健康学会第75回大会プログラムスケジュールについて

専門領域として以下のスケジュールを提案することが理事長から提案され、承認された。

①シンポジウム 8月27日（水、大会1日目）9:30～11:45

②理事会 8月27日（水、大会1日目）12:00～13:00

③総会 8月29日（金、大会3日目）13:00～13:30

④一般発表 8月29日（金、大会3日目）9:00～17:50（最長）

なお、後日、日本体育・スポーツ・健康学会理事会より、第1日目に横断領域の新旧委員の引き継ぎを行うため、大会1日目に理事会の開催ができなくなったとの連絡を受け、大会2日目（8月28日（木）12:20～13:20）に理事会を開催する方向で調整が行われている。（事務局追記）

3. 日本体育・スポーツ・健康学会第75回大会研究企画について

専門領域より提案する企画について、体育経営管理専門領域から合同でのシンポジウムの提案がなされていることが理事長から説明された（合同シンポジウムの開催は第75回大会から可能になった）。12月24日に体育社会学専門領域からは三役と研究委員長、体育経営管理専門領域からは代表、理事長、研究委員長が出席して協議した結果、合同での企画を進める方向で合意し、本専門領域の研究委員会でも了承を得られた。以下のテーマで合同シンポジウムを開催することについて理事長から提案され、承認された。企画内容やシンポジストなどは両専門領域で今後協議していくことが確認された。

①テーマ案：部活動地域展開後の学校体育を再考する～レーゾンデートルと事業構造～

②企画概要：部活動の地域展開政策は、長年わが国の学校体育の一役を担ってきた教科外体育の縮小・廃止策でもある。こうした歴史的転換期を契機に、改めて学校体育の存在意義や固有の役割を再検討するとともに、新しい学校体育の構造について学際的に議論する。

また、大会での一般発表について、従来通り発表時間15分、質疑応答10分、入替時間5分の計30分で申請することが理事長から提案され、承認された。なお、一般発表のための教室追加を要請するが、大会開催校の事情によりうまくいかない場合は発表時間を変更する可能性についても説明された。

以上

2024年度 日本体育社会学会 第6回理事会 議事録

期 日：2025年3月21日（金）13時～15時

場 所：zoom オンライン

出席者：松尾哲矢（会長）、高峰修（理事長）

秋吉遼子、伊藤克広、稲葉慎太郎、岡安功、甲斐健人、神野賢治、笹生心太
清水諭、白石翔、高尾将幸、高橋豪仁、千葉直樹、中澤篤史、藤井雅人、

前田博子、依田充代（以上理事、敬称略、五十音順）
石坂友司（事務局長）、石澤伸弘（事務局次長） 水上博司（事務局次長）（敬称略）
有山篤利、宮本幸子（以上監事、敬称略、五十音順）
欠席者：浅沼道成、大沼義彦、北村尚浩、長ヶ原誠、彦次佳、松田恵示（理事、敬称略）
工藤康宏（会計担当）（敬称略）
司会：高峰理事長
議事録：石坂事務局長

議事に先立ち、松尾会長より挨拶がなされた。

<報告事項>

I. 2024 年度活動報告について

各委員会の活動報告が高峰理事長より説明された。

II. テキスト出版プロジェクトについて

松田テキスト出版編集委員会委員長が欠席のため、松尾会長より、テキスト出版の進捗状況について説明がなされた。当初 2025 年 3 月の刊行を目指していたが、出版社の事情もあり、学会大会が開催される 6 月中旬を目標にして刊行準備を続けることが報告された。また、事務局より学会員に刊行の延期連絡を行うことが確認された。

III. 体育・スポーツ・健康学会第 75 回大会について

以下のスケジュールについて高峰理事長より確認報告が行われた。理事会は当初 1 日目を予定していたが、応用（横断領域）研究部会員の引き継ぎが入ったため、2 日目に変更とされた。

1 日目（8/27） 体育経営管理・体育社会学合同シンポジウム（9:40-11:40）

応用（領域横断）研究部会員引き継ぎ（12:00-13:00）

2 日目（8/28） 理事会（12:20-13:20）

3 日目（8/29） 総会（13:00-13:30）、一般発表（9:00-16:30）

IV. 諸規定の改訂について

2025-26 年度役員選挙において、地区別理事選挙の定数が変更されたことにともない、「日本体育社会学会の会長および理事選挙について」の改訂が行われたことが高峰理事長より報告された。

V. 役員選挙の結果について

2025-26 年度役員選挙の結果について、伊藤選挙管理委員長より報告がなされた。また、宮本副委員長より選挙実施について問題なく進められたことが報告された。松尾会長より、投票率は会長選挙だけではなく、すべての選挙で入れた方がよいのではないかと指摘があり、後日選挙管理委員会で訂正をすることが確認された。石坂事務局長より、役員選挙の結果を理事会や総会で承認するプロセスが規程に定められておらず、今後規程の整備が必要であることが指摘された。

これを受け、高峰理事長より今回の選挙結果については報告ではなく、理事会での議事承認という形をとること、加えて、規程に定める承認の方法について検討したいという提案がなされ承認された（議事に「VI. 役員選挙結果の承認について」を追加）。審議の結果、選挙結果について承認された。また、今後は理事会で承認を行い、総会報告を行うプロセスを規程に書き加えることについて承認された。

承認プロセスの確定に関連して、甲斐理事より次期学生研究奨励賞は任期前に審査を開始しなければならないことが指摘された。いくつかの委員会で発生している任期ズレについては次期理事会で適正に解消したいとの意見が高峰理事長より出された。

VI. 学会賞について

今後の学会賞選考スケジュールが高峰理事長より報告された。

VII. 会員制度の新設について

2025 年 1 月 1 日より新会員制度が開始されていることについて高峰理事長より報告がなされた。松尾会長より会員に情報が行き渡っていないのではないかという指摘があり、各理事に情報発信をお願いするとともに、事務局より改めて告知することが確認された。

VIII. 国際交流委員会設立に向けてのワーキンググループ報告について

国際交流委員会設立に向けてのワーキンググループ報告について、石澤事務局次長よりワーキングでの議論の経緯について説明があり、以下について提案された。①「体育社会学」や「教育現場におけるスポーツ活動」などを研究テーマとしている研究者の招聘、北米や欧州にも着目し、上記した研究テーマを持つ研究者をリサーチし、学会時や研究セミナーに招聘する。②International Council of Sport Science and Physical Education (ICSSPE)、「国際スポーツ科学・体育協議会 (International Council of Sport Science and Physical Education)」への参画を検討する。③学会員の国際学会への参加促進への方策を検討し、若手を中心とした学会員の国際学会への参加を促す。④ホームページの主要部分の英文化。

清水理事より、近年日本スポーツ社会学会で台湾、韓国との学術交流が進んでいることを受け、本会が特徴とする学校体育や運動部などの研究において、海外ではどのような研究が行われ、どのような研究者がいるのかについての情報を集めて共有していくことが重要ではないかとの意見が出された。石坂事務局長より本会は現状、資金面で十分な余力がないことの指摘がなされるとともに、ワーキングでの提言を受けて、国際交流委員会を新設する方向で議論を進めていくのかについて質問がなされた。松尾会長より、まずは課題についての情報共有をしっかりと行った上で、次期理事会で判断を行うのが良いのではないかという提案がなされた。

IX. その他

その他の報告事項はなし。

<審議事項>

I. 2024 年度決算報告（暫定）、及び第 2 回大会監査報告について

石坂事務局長より 2024 年度決算報告（暫定）、及び第 2 回大会監査報告について説明がなされた。年報の制作費削減などにより支出を抑えることが可能になったが、今期は約 15 万円の赤字決算となることが報告された。なお、2024 年度が終わっていないため、決算報告は次回理事会で正式に審議承認されることが確認された。続けて第 2 回大会決算報告について石坂事務局長より説明がなされ、有山監事、宮本監事より監査報告が行われた。2024 年度決算報告（暫定）、及び第 2 回大会監査報告について承認された。

II. 2025 年度活動計画案について

各委員会の 2025 年度活動計画が高峰理事長より説明された。6 月の学会大会で新旧理事の交代がなされるため、現理事会を 2025 年 6 月 19 日（木）18:30 よりオンラインで開催するとともに、大会時の 2025 年 6 月 21 日（土）10:00 より、対面で新旧理事会を開催する日程が説明された。2025 年度活動計画は承認された。

また、先に示された学生研究奨励賞選考委員会が任期前に審査を開始する必要があることにともない、今理事会の役員選挙結果の承認をもって委員会の組織化に着手してもらいたいとの意見が甲斐理事より出され、事前に新理事会で委員会構成を確定していくことが確認された。

III. 2025 年度予算案について

石坂事務局長より、2025 年度予算案について説明がなされた。収支差額（26 万 5 千円）の表記がなかったため、修正を行うこととされた。収入の部では新会員制度の導入で学生会員からの会費と学会誌販売が期待できること、支出の部では、これまで項目にあがっていた「業務委託費」の費目（抄録集 PSD 作業委託費、研究会・シンポ・総会資料印刷費・研究会・シンポテープ起こし業務）を「業務委託費」としてまとめて表記すること、学会賞選考のために 10 万円が計上されたことなどが説明された。依然として赤字予算となっているが、学会が創設 3 年目になり、支出項目が落ち着いてくることが予想されるので、今後収支バランスを改めて見直していくことが説明された。また、次年度は学会賞の選考が行われるが、副賞の扱い（金額や方法）について確定していないため、学会賞選考委員会において審議を行った後、改めて予算計上をすることが説明された。2025 年度予算案は

承認された。

IV. 第3回大会の開催について

甲斐理事（学会大会実行委員長）より、2025年6月21日（土）・22日（日）に東北大学で開催される第3回大会の開催要項（第一報）が説明された。また、今回の実行委員には会員外の東北大学の教員が含まれていること、スケジュールは暫定的なもので、実行委員会企画開催の有無、一般発表のエントリー数などを見ながら確定されたとの説明がなされた。松尾会長より参加費の確定について質問がなされ、前回大会の状況を踏まえて、大会実行委員会で早急に決定することが確認された。第3回大会の開催要項（第一報）について承認された。

松尾会長より学会大会委員会の依田委員長に開催準備における協力が依頼された。

VI. 発表抄録集投稿規程の改訂について

研究委員会から提案された「発表抄録集投稿規程」の改訂（発表者が抄録を締め切りまでに提出していない場合には、原則的に発表を認めないことの追記）について、高峰理事長より説明がなされ、承認された。また、日本体育・スポーツ・健康学会大会実行委員会から要請がある海外学会からの発表者については、日本体育・スポーツ・健康学会大会への抄録提出のみとし、本会の「発表抄録集」には執筆を求めないことを申し送ることが確認された。

V. リポジトリ転載承認について

本会会員が執筆した『年報 体育社会学』掲載論文を大学リポジトリへと転載したいという明治大学図書館からの依頼について石坂事務局長より説明がなされた。現状本会には転載に関する規程がなく、今後整備が必要であることが示され、転載の可否について本理事会で審議して欲しいとの要請がなされた。藤井編集委員会委員長より、編集規程等における著作権、転載の扱いについては十分な確認がとれていないとの説明がなされた。甲斐理事からは明治大学から求められているPDFデータの提供方法など、判断に至る十分な情報がそろっていないことの指摘がなされた。

松尾会長から規程が整備されていない状況では許諾によってどのような問題が生じるかが十分判断できないため、次回の理事会に向けて検討を進めるとともに、諸規定を整備した後に結論を導くことが提案され、承認された。

VI. 役員選挙結果の承認について

報告事項「V. 役員選挙の結果について」で記載したとおり、役員選挙の結果について議事に追加し、本理事会で承認を行った。

VII. その他

特になし。

最後に、松尾会長、有山監事、宮本監事より挨拶がなされ閉会された。

以上

あとがき

News Letter 2025 Spring issue をお届けします。

今号は、「年報 体育社会学 第6号(2025)」の発行、日本体育社会学会第3回大会、および日本体育・スポーツ・健康学会第75回大会などについてです。日本体育社会学会第3回大会は、6月2日(土)・22日(日)の2日間、東北大学川内南キャンパスにおいて開催されます。日本体育・スポーツ・健康学会第75回大会は、8月27日(水)～29日(金)の3日間、日本体育大学東京・世田谷キャンパスにおいて開催されます。専門領域では、体育社会学・体育経営管理の合同シンポジウムが、27日に開催されます。

さて、今年3月、大リーグの東京開幕シリーズが開催されました。人々のテレビ離れが指摘される中でも、開幕戦の番組平均世帯視聴率は30%を超えました(ビデオリサーチ調べ)。その翌週、ロサンゼルス・ドジャースのロゴが入ったウェアを着用し、大きな荷物を持った外国人グループと東京駅新幹線ホームで遭遇しました。スポーツツーリズムが推進される中、このような観光行動の促進が求められます。一方で、各地で指摘される観光公害(オーバーツーリズム)の解決策は、どのように見つけるのでしょうか。地域の暮らしと観光の共存・共栄には、今まで以上に多様な議論が求められます。

今年の春、全国的に気温は高い見込みが出ております。各会員みなさまにおかれましては、くれぐれもご自愛ください。そして、仙台や東京でお会いできることを楽しみにしております。

岡安 功(広報委員会)